□特　集

令和２年京都府人口動態統計（概数）の概要

合計特殊出生率が 0.03 ポイント低下
― 全国は 0.02 ポイント低下 ―

悪性新生物による死亡率は一貫して上昇
― 依然として悪性新生物による死亡が最も多く、総死亡数の 28.8%を占める ―

自然減少数は前年と同じく１万人を超える
― 自然増減率は 0.1 ポイント低下、依然として自然減少が続く ―

府健康福祉総務課

はじめに

人口動態統計は、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の５種類の「人口動態事象」について、その実態を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的として実施されています。

出生、死亡、婚姻及び離婚については、「戸籍法」による届出書から、死産については、「死産の届出に関する規程」による届書等から、その届出を受けた市区町村長が調査票を作成します。

これらの調査票は、保健所長、都道府県を経由し、厚生労働省に提出されます。

厚生労働省では、これらの調査票の毎月分及び年間分を集計して、人口動態統計月報（概数）、人口動態統計年報として公表しています。

この概要は、令和２年１月１日から 12 月 31 日までの間における京都府分について取りまとめたもので、数値は概数です。

1　出　生

ー出生数は５年連続で減少、出生率は 0.2 ポイント低下ー

令和２年の出生数は、１万 6440 人で前年より 553 人減少しました。

出生率（人口千対）は 6.5 で、前年に比べ 0.2 ポイント低下しました。

近年の出生数の推移をみると、昭和 48 年の第２次ベビーブーム期のピーク（４万 4885 人）以降減少し、昭和 62 年（２万 6603 人）には昭和 41 年（ひのえうまの年）の２万 7755 人を、平成 26 年（１万 9583 人）には２万人を下回るなど、回復する年があるものの、減少傾向が続いています。（表１、図１）

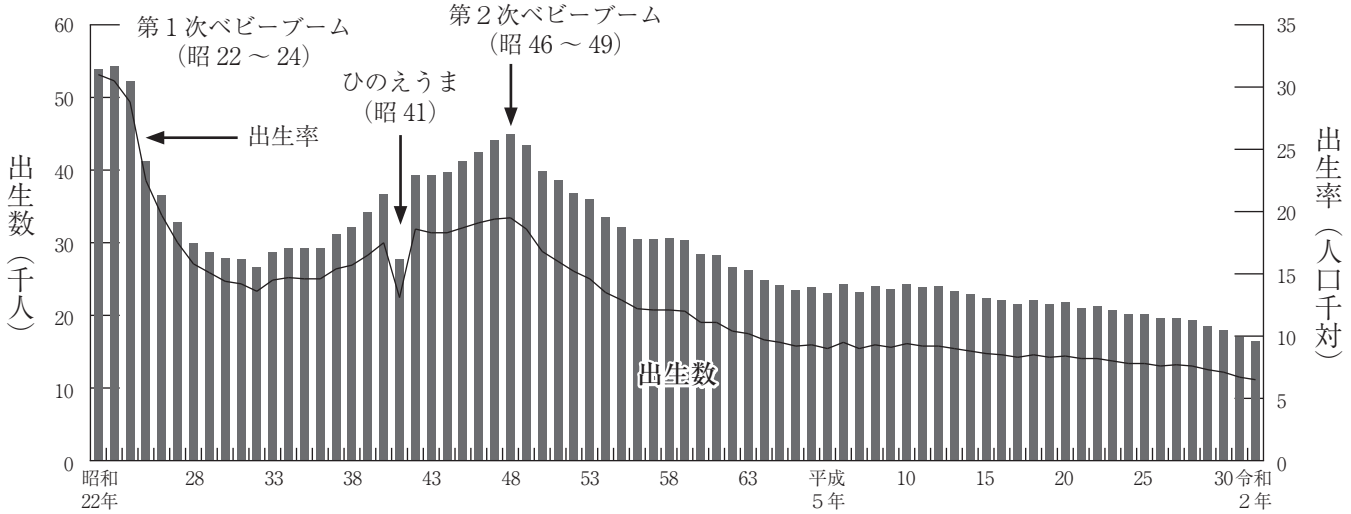
表１　人口動態総覧、対前年比較

（単位：人）

	実数					率		率（全国）	
	令和２年	令和元年	増減	増減割合（%）	平均発生間隔	**令和２年**	令和元年	令和２年	令和元年
出生	**16,440**	16,993	△ 553	△ 3.3	31 分 58 秒	**6.5**	6.7	6.8	7.0
死亡	**26,842**	27,028	△ 186	△ 0.7	19 分 34 秒	**10.7**	10.7	11.1	11.2
（乳児死亡）	**21**	34	△ 13	△ 38.2	417 時間 8 分	**1.3**	2.0	1.8	1.9
（新生児死亡）	**6**	10	△ 4	△ 40.0	1460時間00分	**0.4**	0.6	0.8	0.9
自然増減	**△ 10,402**	△ 10,035	△ 367	3.7	…	**△ 4.1**	△ 4.0	△ 4.3	△ 4.2
死産	**297**	359	△ 62	△ 17.3	29 時間 29 分	**17.7**	20.7	20.1	22.0
婚姻	**10,196**	11,497	△ 1301	△ 11.3	51 分 32 秒	**4.1**	4.5	4.3	4.8
離婚	**3,742**	4,022	△ 280	△ 7.0	2 時間 20 分	**1.49**	1.59	1.57	1.69

注１　令和元年は確定数
　２　出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は日本人人口千対、乳児・新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対
　３　算出に用いた京都府の人口は、令和２年＝ 2,514,000 人（令和２年 10 月１日現在・都道府県・男女別人口（日本人人口）
　４　自然増減：出生数から死亡数を減じたもの
　５　乳児死亡：生後１年未満の死亡数
　６　新生児死亡：乳児死亡のうち、生後４週未満の死亡数
　７　死産：妊娠満 12 週以後の死児の出産
　８　平均発生間隔：１件当たりの事象発生が、どれだけの時間間隔をもって発生したのかを表したもの

図１　出生数・出生率の年次推移



合計特殊出生率は 1.22

－前年より 0.03 ポイント低下
全国は 0.02 ポイント低下－

令和２年の合計特殊出生率は 1.22 で、前年の 1.25 より 0.03 ポイント低下しました。　（表２）

母の年齢階級別にみると、最も出生率が高かったのは、30 ～ 34 歳の層で、出生率は 93.4（出生数 5883 人）となりました。

30 ～ 34 歳の出生率は、昭和 53 年以降上昇傾向にあり、平成 12 年には、25 ～ 29 歳の層を上回り、その後は出生数・率ともに第１位となっていますが、平成 27 年（出生率 102.3）をピークに低下傾向が続いています。

第２位は、25 ～ 29 歳の層で、出生率は 59.3（出生数 4034 人）となりました。25 ～ 29 歳は昭和 47 年（出生率 213.8）をピークに低下傾向が続いています。

第３位は 35 ～ 39 歳の層で、出生率 58.0（出生数 4121 人）となりました。35 ～ 39 歳の層は上昇傾向が続いており、25 ～ 29 歳の層との出生率の差が昭和 53 年は 165.7 ポイントありましたが、令和２年には 1.3 ポイントまで縮小しています。

第４位は 20 ～ 24 歳の層で出生率 17.1（出生数 1162 人）となり、出生率については、５年連続で 20 を下回りました。　（図２）

図２　母の年齢階級別出生率の年次推移（人口千対）

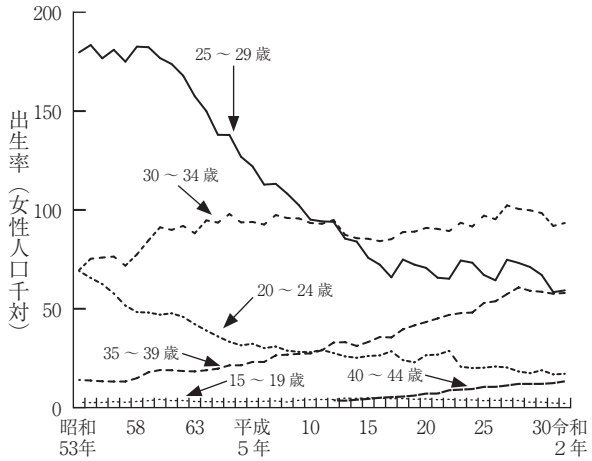


表２　合計特殊出生率の推移

年次		京都府	全国
昭和 40 年	※	2.02	2.14
45	※	2.02	2.13
50	※	1.81	1.91
55	※	1.67	1.75
60	※	1.68	1.76
平成２年	※	1.48	1.54
7	※	1.33	1.42
12	※	1.28	1.36
17	※	1.18	1.26
18		1.19	1.32
19		1.18	1.34
20		1.22	1.37
21		1.20	1.37
22	※	1.28	1.39
23		1.25	1.39
24		1.23	1.41
25		1.26	1.43
26		1.24	1.42
27	※	1.35	1.45
28		1.34	1.44
29		1.31	1.43
30		1.29	1.42
令和元年		1.25	1.36
２	**※**	**1.22**	**1.34**

※は国勢調査年

合計特殊出生率とは、その年の 15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計した値で、その年の女性の年齢別出生傾向が将来も変わらないと仮定した場合、１人の女性が一生の間に生む平均の子どもの数に相当します。

２　死　亡

ー死亡数は増加、死亡率は横ばいー

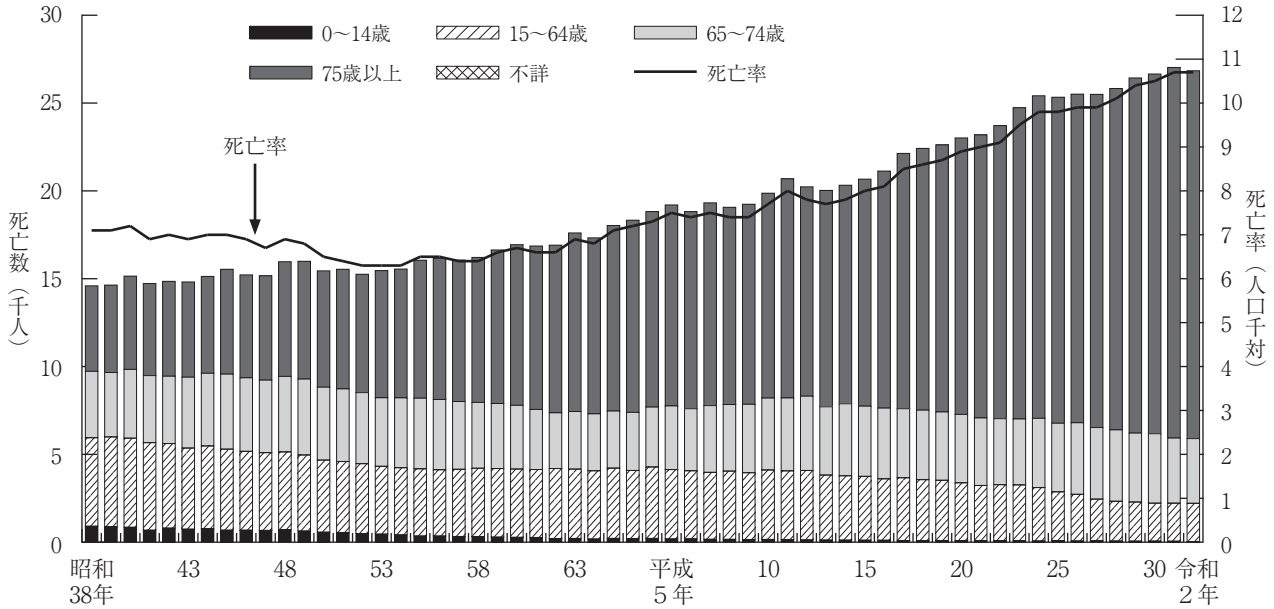
令和２年の死亡数は２万6842人で、前年より186人減少しましたが、死亡率（人口千対）は10.7と５年連続で10を上回りました。　（表１、図３）

死亡数の推移をみると、昭和44年以降１万５千人～１万９千人台で推移していましたが、平成11年に２万人台となって以後、ゆるやかな増加傾向が続いています。

令和２年については、年齢別死亡数では、15～64歳の世代は前年を上回りましたが、それ以外の世代は減少しました。

死亡率は昭和35年（死亡率7.7）以降低下傾向にあり、52～54年に３年連続6.3と戦後最低を記録した後、ゆるやかな上昇に転じ、平成13年（同7.7）以降は上昇傾向が顕著になり、令和２年は前年と同じく10.7で過去最高となりました。（図３）

図３　死亡数・死亡率の年次推移



３　死　因

ー悪性新生物による死亡率は一貫して上昇ー

死因順位の第１位は悪性新生物（がん）で、令和２年の死亡数は7721人で、前年より52人増加、死亡率（人口10万対）は307.1で、前年より3.6ポイント上昇しました。悪性新生物による死亡が総死亡数に占める割合は28.8％でした。

第２位は心疾患の4453人で、前年より36人減少、死亡率は177.1で、前年より0.5ポイント低下しました。

第３位は老衰で、令和２年の死亡数は前年より98人増加の2435人、死亡率は96.9となり、前年より4.4ポイント上昇しました。

第４位は脳血管疾患の1846人で、死亡率は73.4となり、前年より3.0ポイント低下しました。

第５位は肺炎で、死亡数は1300人、第６位は誤嚥性肺炎で、死亡数は1006人でした。自殺は、死亡数が347人となり、前年より33人増加しました。自殺死亡率は13.8でした。

また、悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患の３大生活習慣病による死亡が総死亡数に占める割合は、52.2％となりました。　（表３、図４）

ー悪性新生物（がん）部位別トップは「肺」ー

悪性新生物（がん）の主な部位別死亡率（人口10万対）をみると、第１位は前年に引き続き「肺」で死亡率は65.2、前年より3.4ポイント上昇しました。

第２位は平成25年から引き続き「大腸」で死亡率は43.4、前年より1.3ポイント上昇しました。

第３位は「胃」で死亡率は34.9で前年より0.7ポイント上昇しました。第４位は「肝」で、死亡率は19.8、前年より2.8ポイント低下しました。

また、肺、大腸、胃の上位３疾患で悪性新生物死因総数の46.7％を占めています。　（図５）

表３　死因順位

死因順位	令和２年	死亡数（人）	死亡率	死亡総数に占める割合（%）	令和元年	死亡数（人）	死亡率	［参考］全国（令和２年）	死亡数（人）	死亡率
第１位	悪性新生物	7,721	307.1	28.8	悪性新生物	7,669	303.5	悪性新生物	378,356	307.0
2	心疾患	4,453	177.1	16.6	心疾患	4,489	177.6	心疾患	205,518	166.7
3	老衰	2,435	96.9	9.1	老衰	2,337	92.5	老衰	132,435	107.5
4	脳血管疾患	1,846	73.4	6.9	脳血管疾患	1,930	76.4	脳血管疾患	102,956	83.5
5	肺炎	1,300	51.7	4.8	肺炎	1,638	64.8	肺炎	78,445	63.6
6	誤嚥性肺炎	1,006	40.0	3.7	誤嚥性肺炎	863	34.2	誤嚥性肺炎	42,746	34.7
7	腎不全	539	21.4	2.0	不慮の事故	570	22.6	不慮の事故	38,069	30.9
8	不慮の事故	523	20.8	1.9	腎不全	523	20.7	腎不全	26,946	21.9
9	血管性及び詳細不明の認知症	409	16.3	1.5	アルツハイマー病	428	16.9	アルツハイマー病	20,852	16.9
10	アルツハイマー病	406	16.1	1.5	血管性及び詳細不明の認知症	422	16.7	血管性及び詳細不明の認知症	20,811	16.9

注）　令和元年は確定数
　　死亡率は人口 10 万対

図４　主要死因別死亡率の年次推移（人口 10 万対）

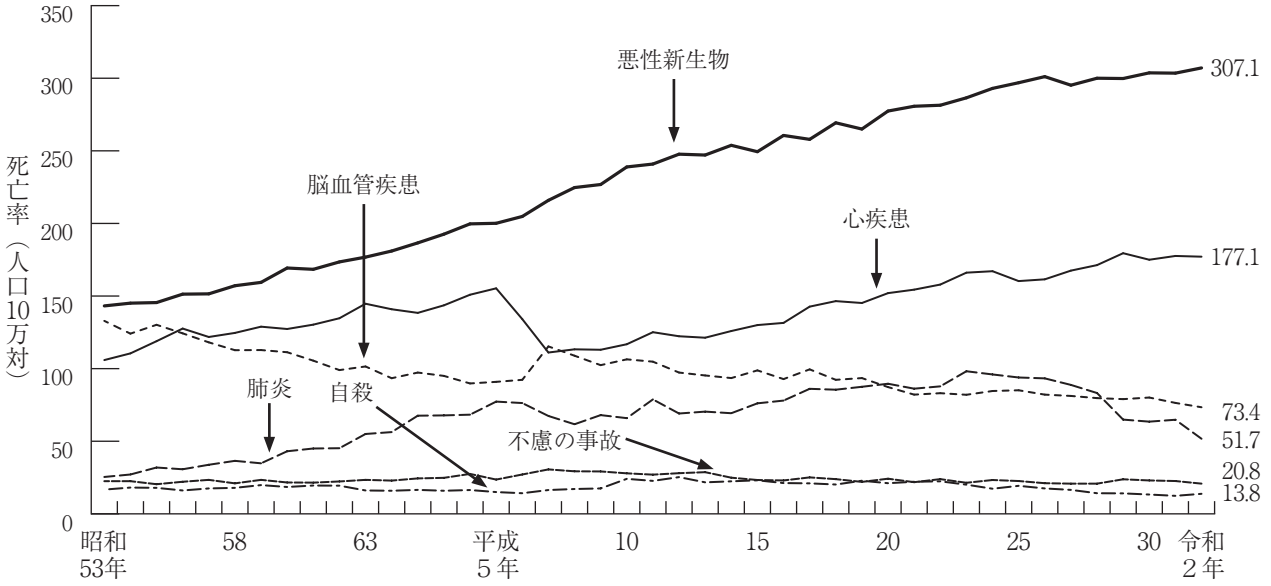
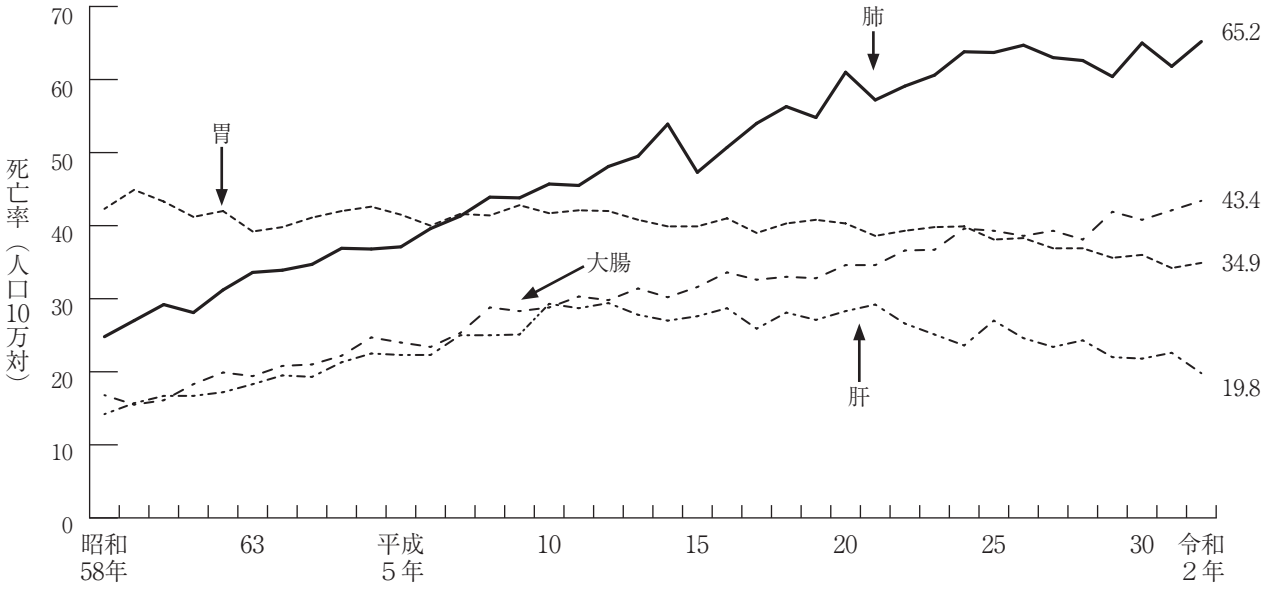


図５　悪性新生物（がん）の主な部位別死亡率の年次推移（人口 10 万対）



男女別死亡率をみると、男の死亡率（人口10万対）は、「肺」が平成３年以降第１位で、95.5となり、前年より2.2ポイント上昇しました。

第２位は「大腸」で48.0と、前年より0.9ポイント上昇し、２年連続「胃」による死亡率を上回りました。

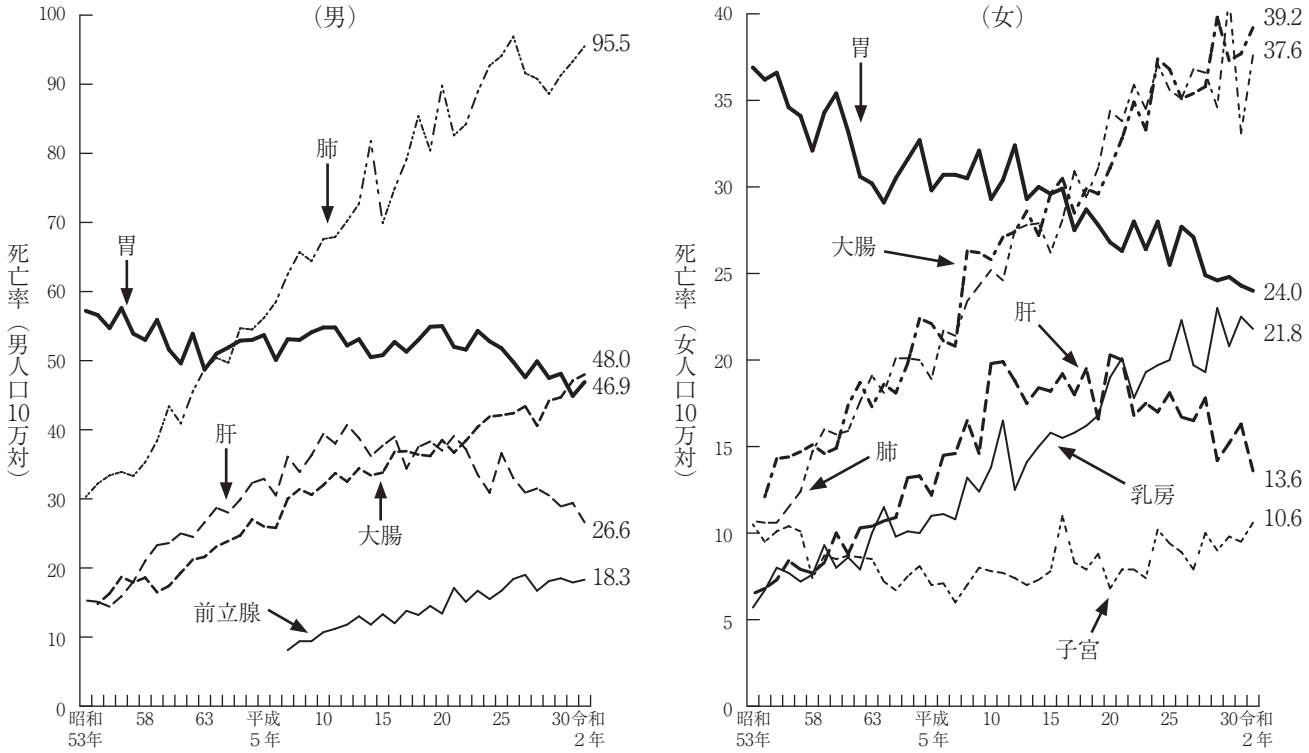
第３位は「胃」で46.9、第４位は「肝」で26.6となりました。

女の死亡率（人口10万対）は、「大腸」が39.2で第１位となり、前年より1.5ポイント上昇しました。

第２位は「肺」で37.6、第３位は「胃」で24.0となりました。

「乳房」は21.8で前年より0.7ポイント低下し、「子宮」は10.6で前年より1.1ポイント上昇しました。（図６）

図６　悪性新生物（がん）の性別・主な部位別死亡率の年次推移（人口10万対）



注１　文中、図５及び図６において肺とは、気管、気管支及び肺の悪性新生物である。
２　文中、図５及び図６において大腸とは、結腸と直腸Ｓ状結腸移行部及び直腸の悪性新生物である。
３　文中、図５及び図６において肝とは、肝及び肝内胆管の悪性新生物である。
４　図６において大腸の昭和53年以前の数値は、旧厚生省で集計されていないため不明である。
５　図６において前立腺の平成６年以前の数値は、旧厚生省で集計されていないため不明である。

４　乳児死亡・新生児死亡

－乳児死亡率は0.7ポイント低下、新生児死亡率は0.2ポイント低下－

令和２年の乳児死亡数は21人で、前年より13人減少し、乳児死亡率（出生千対）は1.3で、前年より0.7ポイント低下しました。

新生児死亡数は６人で、前年より４人減少し、新生児死亡率（出生千対）は0.4で、前年より0.2ポイント低下しました。（表１）

５　自然増減

－自然減少数は１万人を超える－

出生数から死亡数を減じた自然増減数は、平成17年に初めてマイナスに転じて以降、自然減少が続いており、令和２年には１万402人となり、２年連続で１万人を超えました。自然増減率（人口千対）はマイナス4.1で、前年より0.1ポイント低下しました。（表１）

6　死　産

ー死産率は 3.0 ポイント低下ー

令和２年の死産数は 297 胎で前年より 62 胎減少、死産率（出産千対）は 17.7 と、前年より 3.0 ポイント低下しました。　（表１）

7　婚　姻

ー平均初婚年齢　夫は 31.2 歳、妻は 29.7 歳 男女とも晩婚化進むー

令和２年の婚姻件数は１万 196 組で前年より 1301 組減少し、婚姻率（人口千対）は前年より 0.4 ポイント低下し、4.1 となりました。　（表１）

また、平均初婚年齢は、夫 31.2 歳、妻 29.7 歳で、夫、妻ともに 0.1 歳低下しています。

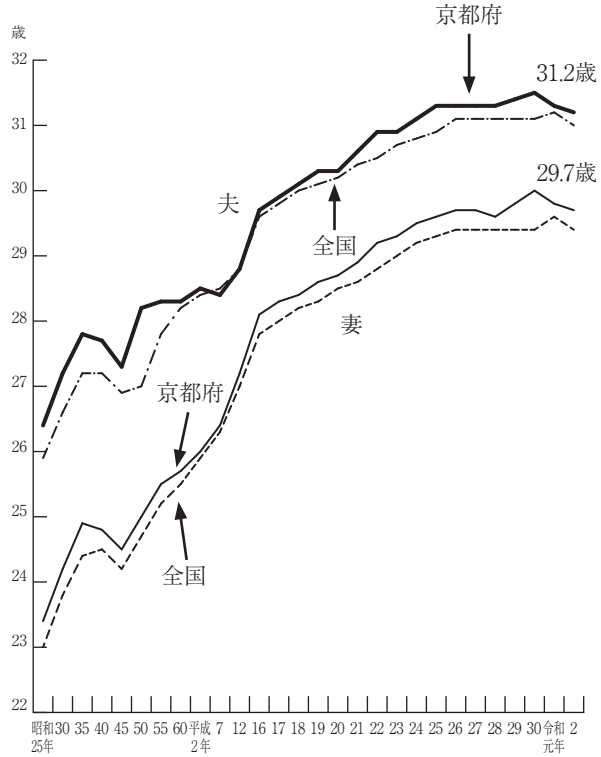
平均初婚年齢の推移をみると、昭和 25 年以降は上昇傾向が続き、昭和 25 年（夫＝ 26.4 歳、妻＝ 23.4 歳）と比べると、夫は 4.8 歳、妻は 6.3 歳上昇しており、男女とも晩婚化が進んでいます。（図７）

8　離　婚

ー離婚件数は減少傾向が続くー

令和２年の離婚件数は 3742 組で、前年より 280 組減少し、離婚率（人口千対）は前年より 0.1 ポイント低下し、1.49 となりました。　（表１）

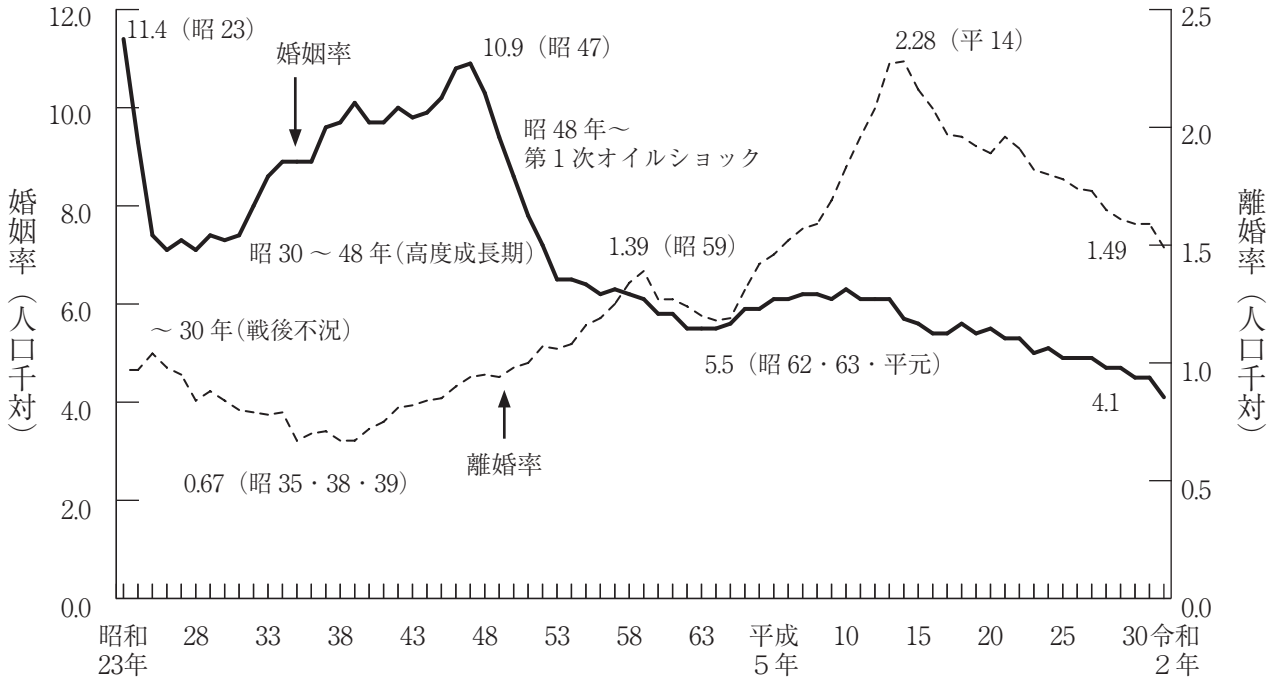
図７　平均初婚年齢の推移



注１　昭和 40 年以前は、結婚式をあげた時の年齢、45 年以降は、結婚式をあげた時又は同居をはじめたときの年齢
２　記載の年齢は京都府の初婚年齢

離婚率の推移をみると、昭和 35 年、38 年、39 年に戦後最低（離婚率 0.67）となった後上昇し、59 年以降低下していましたが、平成２年から再び上昇に転じ、平成 14 年には過去最高の 2.28 を記録し、その後は低下傾向が続いています。（図８）

図８　婚姻率・離婚率の年次推移（人口千対）



第１表　人口動態（概数）保健所、市町村別（令和２年）

区分	出生数			死亡数			乳児死亡数	新生児死亡数	死産数	婚姻件数	離婚件数	自然増加数
	総数	男	女	総数	男	女						
	人	人	人	人	人	人	人	人	胎	組	組	人
総数	**16,440**	**8,363**	**8,077**	**26,842**	**13,707**	**13,135**	**21**	**6**	**297**	**10,196**	**3,742**	**△10,402**
京都市	**9,251**	**4,707**	**4,544**	**14,862**	**7,493**	**7,369**	**15**	**4**	**165**	**6,270**	**2,182**	**△5,611**
その他の市町村	**7,189**	**3,656**	**3,533**	**11,980**	**6,214**	**5,766**	**6**	**2**	**132**	**3,926**	**1,560**	**△4,791**
乙訓保健所	**1,261**	**662**	**599**	**1,338**	**718**	**620**	**1**	**1**	**23**	**610**	**211**	**△77**
向日市	458	245	213	530	292	238	1	1	8	224	83	△72
長岡京市	610	309	301	678	358	320	－	－	11	304	105	△68
大山崎町	193	108	85	130	68	62	－	－	4	82	23	63
山城北保健所	**2,488**	**1,280**	**1,208**	**4,170**	**2,286**	**1,884**	**－**	**－**	**48**	**1,488**	**608**	**△1,682**
宇治市	1,107	550	557	1,796	982	814	－	－	24	650	281	△689
城陽市	428	229	199	785	430	355	－	－	6	250	85	△357
八幡市	323	172	151	680	393	287	－	－	10	234	102	△357
京田辺市	481	257	224	553	298	255	－	－	8	231	87	△72
久御山町	77	38	39	159	78	81	－	－	－	60	25	△82
井手町	38	21	17	96	54	42	－	－	－	25	11	△58
宇治田原町	34	13	21	101	51	50	－	－	－	38	17	△67
山城南保健所	**874**	**442**	**432**	**970**	**480**	**490**	**1**	**－**	**14**	**363**	**169**	**△96**
木津川市	633	321	312	585	276	309	1	－	8	245	115	48
笠置町	1	1	-	28	14	14	－	－	－	2	2	△27
和束町	15	8	7	72	41	31	－	－	1	10	7	△57
精華町	219	110	109	247	129	118	－	－	4	102	45	△28
南山城村	6	2	4	38	20	18	－	－	1	4	－	△32
南丹保健所	**728**	**354**	**374**	**1,613**	**818**	**795**	**1**	**－**	**8**	**422**	**201**	**△885**
亀岡市	517	249	268	876	464	412	1	－	6	290	141	△359
南丹市	165	79	86	523	240	283	－	－	2	102	42	△358
京丹波町	46	26	20	214	114	100	－	－	－	30	18	△168
中丹西保健所	**585**	**288**	**297**	**954**	**476**	**478**	**1**	**－**	**14**	**349**	**109**	**△369**
福知山市	585	288	297	954	476	478	1	－	14	349	109	△369
中丹東保健所	**768**	**368**	**400**	**1,500**	**757**	**743**	**2**	**1**	**17**	**440**	**158**	**△732**
舞鶴市	572	276	296	1,004	513	491	2	1	14	341	109	△432
綾部市	196	92	104	496	244	252	－	－	3	99	49	△300
丹後保健所	**485**	**262**	**223**	**1,435**	**679**	**756**	**－**	**－**	**8**	**254**	**104**	**△950**
宮津市	86	48	38	318	153	165	－	－	2	58	21	△232
京丹後市	291	151	140	758	354	404	－	－	5	147	61	△467
伊根町	13	7	6	37	21	16	－	－	－	2	2	△24
与謝野町	95	56	39	322	151	171	－	－	1	47	20	△227

第２表　人口動態統計　実数及び率の年次推移

（単位：人、胎、組）

区分	出生		死亡		乳児死亡		死産		婚姻		離婚		自然増加	
	実数	率（人口千対）	実数	率（人口千対）	実数	率（人口千対）	実数	率（人口千対）	実数	率（人口千対）	実数	率（出産千対）	実数	率（人口千対）
昭和22年	53,828	31.0	25,686	14.8	3,705	68.8	2,429	43.2	18,294	10.5	1,750	1.01	28,142	16.2
23	54,287	30.5	19,892	11.2	2,866	52.8	2,920	51.0	20,285	11.4	1,727	0.97	34,395	19.3
24	52,248	28.8	19,638	10.8	2,058	39.4	4,313	76.2	16,916	9.3	1,765	0.97	32,610	18.0
25	41,236	22.5	17,850	9.7	2,079	50.4	4,587	100.1	13,643	7.4	1,903	1.04	23,386	12.8
26	36,493	19.7	16,341	8.8	1,804	49.4	4,452	108.7	13,168	7.1	1,813	0.98	20,152	10.9
27	32,802	17.5	15,417	8.2	1,401	42.7	3,943	107.3	13,705	7.3	1,788	0.95	17,385	9.3
28	29,907	15.8	15,562	8.2	1,237	41.4	3,672	109.4	13,388	7.1	1,591	0.84	14,345	7.6
29	28,717	15.1	14,139	7.4	1,089	37.9	3,516	109.1	14,109	7.4	1,673	0.88	14,578	7.7
30	27,943	14.4	13,797	7.1	909	32.5	3,319	106.2	14,079	7.3	1,630	0.84	14,146	7.3
31	27,724	14.2	15,081	7.7	963	34.7	3,285	105.9	14,488	7.4	1,560	0.80	12,643	6.5
32	26,688	13.6	15,549	7.9	843	31.6	3,234	108.1	15,685	8.0	1,556	0.79	11,139	5.7
33	28,665	14.5	14,356	7.3	811	28.3	3,455	107.6	17,041	8.6	1,535	0.78	14,309	7.2
34	29,282	14.7	14,610	7.3	818	27.9	3,479	106.2	17,651	8.9	1,577	0.79	14,672	7.4
35	29,194	14.6	15,265	7.7	747	25.6	3,356	103.1	17,709	8.9	1,327	0.67	13,929	7.0
36	29,213	14.6	14,866	7.4	746	25.5	3,372	103.5	17,960	8.9	1,410	0.70	14,347	7.1
37	31,129	15.4	15,080	7.4	695	22.3	3,468	100.2	19,459	9.6	1,437	0.71	16,049	7.9
38	32,108	15.7	14,555	7.1	638	19.9	3,399	95.7	19,931	9.7	1,379	0.67	17,553	8.6
39	34,258	16.5	14,613	7.1	612	17.9	3,395	90.2	20,941	10.1	1,396	0.67	19,654	9.5
40	36,703	17.5	15,109	7.2	587	16.0	3,284	82.1	20,310	9.7	1,520	0.72	21,594	10.3
41	27,755	13.1	14,732	6.9	475	17.1	2,858	93.4	20,513	9.7	1,587	0.75	13,023	6.1
42	39,254	18.6	14,813	7.0	573	14.6	2,902	68.8	21,160	10.0	1,718	0.81	24,441	11.6
43	39,240	18.3	14,868	6.9	521	13.3	2,882	68.4	21,098	9.8	1,755	0.82	24,372	11.4
44	39,750	18.3	15,135	7.0	575	14.5	2,813	66.1	21,440	9.9	1,822	0.84	24,615	11.3
45	41,235	18.7	15,577	7.0	481	11.7	2,704	61.5	22,621	10.2	1,871	0.85	35,658	11.6
46	42,413	19.1	15,279	6.9	494	11.6	2,692	59.7	24,143	10.8	2,000	0.90	27,134	12.2
47	44,107	19.4	15,208	6.7	454	10.3	2,535	54.4	24,826	10.9	2,135	0.94	28,899	12.7
48	44,885	19.5	15,995	6.9	478	10.6	2,509	52.9	23,850	10.3	2,201	0.95	28,890	12.5
49	43,438	18.6	15,986	6.8	433	10.0	2,379	51.9	21,851	9.4	2,192	0.94	27,452	11.8
50	39,921	16.8	15,460	6.5	353	8.8	2,192	52.1	20,514	8.6	2,329	0.98	24,461	10.3
51	38,636	16.0	15,544	6.4	344	8.9	2,359	57.5	28,738	7.8	2,401	1.00	23,092	9.6
52	36,870	15.2	15,260	6.3	303	8.2	1,995	51.3	17,507	7.2	2,599	1.07	21,610	8.9
53	35,943	14.6	15,464	6.3	289	8.0	1,810	47.9	16,031	6.5	2,590	1.06	20,479	8.3
54	33,464	13.5	15,553	6.3	240	7.2	1,698	48.3	16,117	6.5	2,661	1.08	17,911	7.2
55	32,139	12.9	16,059	6.5	209	6.5	1,622	48.0	15,916	6.4	2,884	1.16	16,080	6.5
56	30,498	12.2	16,174	6.5	200	6.6	1,662	51.7	15,571	6.2	2,980	1.19	14,324	5.7
57	30,493	12.1	16,059	6.4	194	6.4	1,522	47.5	15,794	6.3	3,134	1.25	14,434	5.7
58	30,627	12.1	16,214	6.4	193	6.3	1,435	44.8	15,776	6.2	3,382	1.34	14,413	5.7
59	30,390	12.0	16,637	6.6	181	6.0	1,325	41.8	15,370	6.1	3,529	1.39	13,753	5.4
60	28,479	11.1	16,942	6.6	143	5.0	1,360	45.6	14,932	5.8	3,248	1.27	11,537	4.5
61	28,358	11.1	16,864	6.6	148	5.2	1,282	43.3	14,839	5.8	3,241	1.27	11,494	4.5
62	26,603	10.4	16,912	6.6	121	4.5	1,252	44.9	14,025	5.5	3,179	1.24	9,691	3.8
63	26,192	10.2	17,608	6.9	135	5.2	1,093	40.1	14,076	5.5	3,071	1.20	8,584	3.4
平成元年	24,855	9.7	17,327	6.8	99	4.0	1,015	39.2	14,026	5.5	3,021	1.18	7,528	2.9
2	24,209	9.5	18,031	7.1	118	4.9	1,039	41.2	14,337	5.6	3,050	1.19	6,178	2.4
3	23,487	9.2	18,331	7.2	111	4.7	947	38.8	15,018	5.9	3,346	1.31	5,156	2.0
4	23,838	9.3	18,822	7.3	129	5.4	919	37.1	15,101	5.9	3,640	1.42	5,016	2.0
5	23,082	9.0	19,202	7.5	125	5.4	826	34.5	15,647	6.1	3,738	1.46	3,880	1.5
6	24,245	9.5	18,821	7.4	122	5.0	838	33.4	15,716	6.1	3,891	1.52	5,424	2.1
7	23,219	9.0	19,321	7.5	97	4.2	777	32.4	15,887	6.2	4,047	1.57	3,898	1.5
8	24,023	9.3	19,068	7.4	95	4.0	748	30.2	16,153	6.2	4,115	1.59	4,955	1.9
9	23,595	9.1	19,239	7.4	91	3.9	701	28.9	15,869	6.1	4,384	1.69	4,356	1.7
10	24,312	9.4	19,868	7.7	79	3.2	736	29.4	16,273	6.3	4,732	1.83	4,444	1.7
11	23,831	9.2	20,690	8.0	95	4.0	699	28.5	15,682	6.1	5,089	1.96	3,141	1.2
12	23,997	9.2	20,233	7.8	78	3.3	694	28.1	15,781	6.1	5,403	2.08	3,763	1.4
13	23,364	9.0	20,027	7.7	60	2.6	698	29.0	15,775	6.1	5,903	2.27	3,336	1.3
14	22,859	8.8	20,320	7.8	68	3.0	702	29.8	14,899	5.7	5,922	2.28	2,539	1.2
15	22,371	8.6	20,669	8.0	67	3.0	664	28.8	14,478	5.6	5,612	2.16	1,702	0.7
16	22,066	8.5	21,126	8.1	63	2.9	721	31.6	14,127	5.4	5,408	2.08	940	0.4
17	21,560	8.3	22,134	8.5	54	2.5	600	27.1	14,030	5.4	5,116	1.97	△ 574	△ 0.2
18	22,100	8.5	22,419	8.6	48	2.2	559	24.7	14,477	5.6	5,091	1.96	△ 319	△ 0.1
19	21,597	8.3	22,619	8.7	51	2.4	521	23.6	13,978	5.4	4,962	1.92	△ 1,022	△ 0.4
20	21,842	8.4	23,015	8.9	54	2.5	507	22.7	14,239	5.5	4,877	1.89	△ 1,173	△ 0.5
21	21,058	8.2	23,191	9.0	44	2.1	432	20.1	13,640	5.3	5,054	1.96	△ 2,133	△ 0.8
22	21,234	8.2	23,714	9.1	52	2.4	482	22.2	13,664	5.3	4,964	1.91	△ 2,480	△ 1.0
23	20,707	8.0	24,733	9.5	40	1.9	476	22.5	12,900	5.0	4,713	1.82	△ 4,026	△ 1.6
24	20,111	7.8	25,416	9.8	40	2.0	464	22.6	13,189	5.1	4,646	1.80	△ 5,305	△ 2.1
25	20,106	7.8	25,332	9.8	52	2.6	440	21.4	12,746	4.9	4,581	1.78	△ 5,226	△ 2.0
26	19,583	7.6	25,507	9.9	35	1.8	447	22.3	12,671	4.9	4,462	1.74	△ 5,924	△ 2.3
27	19,662	7.7	25,495	9.9	50	2.5	427	21.3	12,458	4.9	4,434	1.73	△ 5,833	△ 2.3
28	19,327	7.6	25,850	10.1	41	2.1	401	20.3	12,142	4.7	4,222	1.65	△ 6,523	△ 2.5
29	18,521	7.3	26,430	10.4	27	1.5	355	18.8	11,875	4.7	4,104	1.61	△ 7,909	△ 3.1
30	17,909	7.1	26,654	10.5	31	1.7	362	19.8	11,491	4.5	4,046	1.59	△ 8,745	△ 3.4
令和元年	16,993	6.7	27,028	10.7	34	2.0	359	20.7	11,497	4.5	4,022	1.59	△ 10,035	△ 4.0
2	**16,440**	**6.5**	**26,842**	**10.7**	**21**	**1.3**	**297**	**17.7**	**10,196**	**4.1**	**3,742**	**1.49**	**△ 10,402**	**△ 4.1**

注　令和２年は概数である。